

(目次)

(参考)

【解説編】

- 1 統一記号
 - (1) 統一記号一覧表
 - (2) 統一記号の記入例
- 2 打席
 - (1) 打席数
 - (2) 打数
- 3 安打
 - (1) 安打を記録する
 - (2) 安打を記録しない
- 4 塁打の決定
 - (1) 単打、長打の決定
 - (2) 打球にグラブ等を投げ当てる
 - (3) 送球にグラブ等を投げ当てる
 - (4) 投球にグラブ等を投げ当てる
- 5 犠牲打
 - (1) 犠牲バント
 - (2) 犠牲フライ
- 6 打点
 - (1) 打点を記録する
 - (2) 打点を記録しない
- 7 四球と死球
 - (1) 四球を記録する
 - (2) 与四球を記録する
 - (3) 死球を記録する
 - (4) 与死球を記録する
- 8 三振
 - (1) 三振を記録する
 - (2) 奪三振を記録する
- 9 打撃妨害
 - (1) 打撃妨害を記録する
 - (2) 打撃妨害を記録しない
- 10 盗塁
 - (1) 盗塁を記録する
 - (2) 盗塁を記録しない
 - (3) 離塁アウト
- 11 走塁妨害
 - (1) 走塁妨害を記録する
 - (2) 走塁妨害を記録しない
- 12 刺殺
 - (1) 野手に記録する
 - (2) 捕手に記録する
- 13 補殺
 - (1) 補殺を記録する
 - (2) 補殺を記録しない
- 14 失策
 - (1) 失策を記録する
 - (2) 失策を記録しない
- 15 守備妨害
 - (1) 打者の守備妨害
 - (2) 走者の守備妨害

統一記号一覧表

打 者 等	三 振	K	Strike Out
	四 球	B	Base on Balls
	死 球	D	Hit by Pitch
	失 策	E	Error
	盗 塁	S	Stolen Base

統一記号記入例

22

	OT
	↑
	6E-3

遊撃手の一塁への送球がオーバースロー（悪送球場外）となり、打者走者が二塁まで進塁

安打を記録する／記録しない

- Q1 先行走者をうかがったのち、一塁送球したが、オールセーフ
- Q2 先行走者をうかがったのち、どこにも送球できず、オールセーフ

犠牲バント（無死、一死のとき）

- Q1 先行走者をアウトにするため送球したが、失策のため生き、オールセーフ

事例5-1②a

：	5E-6
—	B
二	5-

事例5-1②b

：	5-6E
—	B
二	5-

- Q2 打者を一塁でアウトしようとして送球したが、失策のため生き、オールセーフ

盗塁を記録しない

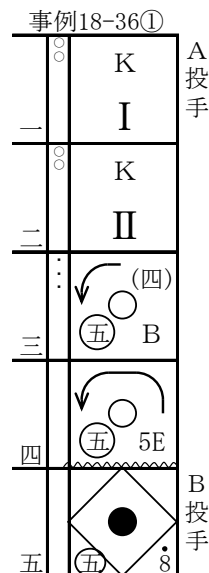
- ② 盗塁を企てた走者が、目的の塁をオーバーライドしたためタッチアウトとなった場合には、その塁に戻ろうとしたか、あるいは次の塁に向かおうとしたかに関係なく、すべてその走者に盗塁は記録しない。

失策を記録しない

- ⑩ ハッキリとしたミスプレイをとまなわないう緩慢なプレイには、失策を記録しない。

(3) 次打者の守備妨害	
(4) 攻撃側メンバーの守備妨害	
16 ダブルプレイとトリプルプレイ	
(1) ダブルプレイ	
(2) トリプルプレイ	
17 暴投と捕逸	
(1) 暴投	
(2) 捕逸	
(3) 暴投と捕逸の記録	
18 自責点	→
(1) 自責点とは	
(2) 出塁した走者について	
(3) アウトの守備機会について	
(4) 走者の進塁について	
(5) 記録員の判断による自責点・非自責点について	
(6) 救援投手が受け継いだ場合	
(7) チーム自責点	
19 勝利投手と敗戦投手	
(1) 勝利投手	
(2) 敗戦投手	
20 完全試合と無安打無得点試合	
(1) 完全試合	
(2) 無安打無得点試合	
21 プレイヤーの交代	→
(1) 無通告	
(2) 再出場	
(3) 指名選手	
(4) 代替プレイヤー	
22 打順誤り	
(1) 打撃の順序	
(2) 打順誤り	
23 タイブレーカー	
(1) タイブレーカー走者	
(2) 打者の記録	
(3) 投手の記録	
24 試合	
(1) 正式試合	
(2) 引き分け試合	
(3) 没収試合	
(4) サスペンデットゲーム	
25 各率の算出法	↓
(1) 打撃率	
(2) 守備率	
(3) 防御率	
(4) 出塁数	
(5) スコアカードの検算	
(6) 規定打席数	
(7) 規定投球回数	
26 新記録について	
(1) 新記録と最高記録	
(2) 新記録の算出	
27 スコアカード記帳要領	
【事例編】	→

自責点
事例18-36①



プレイヤーの交代

事例21-1

無通告で再出場していた右翼手Fが四番打者のフライを捕球。三塁走者が生還した。この直後、攻撃側の監督から「Fが無通告出場である」とのアピールがあった。どのように処置をすればよいか。

【解説】

- ① 攻撃側監督がプレイの結果を選択した場合。
無通告出場のFは失格選手となりFを横線で抹消。正しい選手Lと交代させる。この場合、Kは無通告といえども一度試合から退いており、Fに代わって出場する資格はない。なお、監督がプレイの結果を選択しているため、四番打者Sには打点1、犠打1を記録する。ただし、Fが捕球したフライは、Kが捕球したものとしてKに刺殺1を記録する。

事例21-1①

位置	3	4	後攻
9	F		4
R9	K	無通告	◇9
9	L	S	I
	六	?	四

事例21-10

DPの交代

	自チームシート欄		相手チーム (交代の記録)
	交代前	交代後	
① DPがDEFOの守備を兼ねる (DEFO: 投手)	DP	DP1	(DP) - (DP1)
② DPがDEFO以外の守備を兼ねる (例: 右翼手)	DP	DP9	(DP) - (DP9)
③ 守備兼務のDPが、打撃専門に戻る	DP1	DP1D	(DP1) - (DP)

各率の算出法

(1) 打撃率 = $\frac{\text{安打数}}{\text{打数}}$ 小数第4位四捨五入